

 **Tips** リモートワーク環境で、INSTANTCOPYを活用した事例を紹介します。

【活用事例】

ウイルスチェックソフトのチェック結果などの画面キャプチャーを、事務所では週1回の報告だったところ、リモートワークになったことで、**毎日取得し報告する必要**があり、INSTANTCOPYを活用し効率化しました。

導入前

毎日以下の2つを報告する。

- ・ウイルスチェック結果がOKであること
- ・ゴミ箱が空の状態であること

上記2つの画面をキャプチャーし、取得時間もわかるようにする必要がある。

うっかり、報告作業を
忘れることがある…

キャプチャーの取り方に
ばらつきがあり、チェック
の手間がかかる…

操作が多くて毎日大変…



導入後

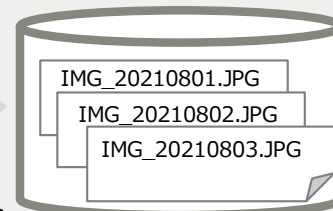
INSTANTCOPYによる画面キャプチャーを
スクリプトで実行することで、自動化でき、
手間が減った。また、報告漏れもなくなった。

自動化できて
楽々！



スクリプト実行
(キャプチャー取得)

ネットワークドライブ
└─ 富士通太郎



自動保存

リモートワークで活用しよう (2/2)

【例】 下記のようなスクリプト (例 security_check.ps1) を用意し、スクリプトを実行する



security_check.ps1

1. 起動中のWindowすべてを最小化する
2. セキュリティ診断を起動する
3. 2のウィンドウサイズをディスプレイ解像度の1/4 にして配置する
4. ごみ箱を空にする
5. ごみ箱を表示し、ディスプレイ解像度の1/4 にして配置する
6. INSTANTCOPYをコマンドで呼び出し、画面をキャプチャーする
コマンドの実行例

```
"C:¥Program Files¥ICOPY¥icopy32.exe" copy -t0 -o1
```

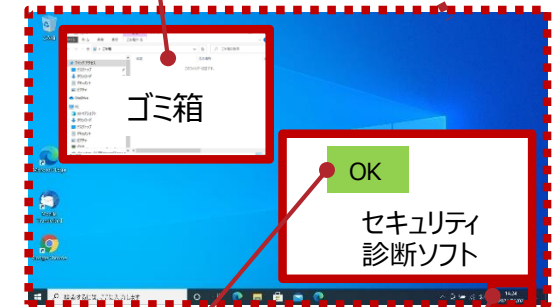
オプション	copy	画面キャプチャーを実行する
対象パラメータ	-t0	取得対象が「デスクトップ全体」
出力先パラメータ	-o1	出力先が「イメージファイル」

(コマンドの詳細に関しては、Tips 3「コマンドを使って画面キャプチャー」をご参照ください)

7. セキュリティ診断とごみ箱を終了する

「デスクトップ全体」が
「イメージファイル」に出力

ごみ箱が空である
状態を表示



セキュリティ診断結果が
「OK」の状態を表示

取得日時が分かるように
画面右下の日時を含めている